

## 新しい看護師さんが朝日診療所に着任しました!

8月1日から11月30日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の藁谷玲奈さんです。会津若松市内の「仁愛高等学校」卒業後、会津中央病院の救命救急センターに勤務され現在2年目です。藁谷さんは、只見で初めて訪問看護を経験され、患者さんとの距離が病院より身近であること、そして看護師主体で責任があることから興味を持たれたそうです。「私のことを見かけたら気軽に声をかけて欲しい」と明るく話してくれた藁谷さんをどうぞ宜しくお願いします。



藁谷 玲奈さん(出身/いわき市)  
家系に看護師が多く、小さい頃から看護師になるのが夢でした!

## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



### 「生まれた子供にはB型肝炎予防接種を！」

オリンピックの熱戦が終わりましたね。4年後の東京オリンピックでは、只見からも活躍する選手が出場するでしょうか。

さて、今年10月から子供のB型肝炎予防接種が定期接種になるのをご存じでしょうか? B型肝炎ウイルスは肝硬変や肝臓という重い病気の原因になります。肝炎が起きている人の血液・体液などを通して周囲の方へ感染します。昔は輸血での感染や、B型肝炎を持つお母さんから生まれた子供への感染が多数ありました。最近は輸血のチェック体制が改善され、B型肝炎を持つお母さんが出産する際には予防措置がとられています。しかし、輸血をしなくても、家族にB型肝炎がなくてもB型肝炎ウイルスに感染してしまう人がいます。B型肝炎は感染を起しやすいうイルスです。HIV(エイズ)なども血液で感染を起しますが、それ以上に感染する力が強いウイルスです。

幸いなことに、B型肝炎ウイルスには予防接種(ワクチン)があります。これまでは「任意接種」として各個人が

お金を出して接種するワクチンでした。今年10月から対象の子供には市町村が補助をして接種できる「定期接種」になりました。

子供にB型肝炎の予防接種を受けさせるとどんな良いことがあるのでしょうか? B型肝炎に感染しにくくなり、肝硬変・肝臓になる可能性がとて低減することがわかっています。B型肝炎は世界中で広がっている病気です。国内で感染する可能性もありますが、海外旅行や海外で働くことで感染の機会が増えるかもしれません。

接種方法は生後2か月に1回目、3か月に2回目、7-8か月に3回目の接種が一般的です。定期接種対象となるのは平成28年4月以降に生まれた子供で、原則1歳になるまでに接種する子供です。詳しくは診療所医師や町の保健師へご相談下さい。

健康かつ安心して過ごせるように、全ての子供に0才からB型肝炎予防接種をオススメします! 子供達が将来オリンピックなど海外で活躍する際も安心です。

## 地域おこし協力隊として vol.22

只見観光振興協力隊  
橋本 拓馬



### 『やるならいましかね』

「やるならいましかね やるならいましかね 6.6  
の親父の口癖は やるならいましかね」

♪西新宿の親父の唄 長瀬剛♪

この唄は私が地域おこし協力隊に応募する際に後押ししてくれた唄です。私の中で只見で衣食住をしたい気持ちがありました。この気持ちは誰にも負けない自信がありました。

しかし、いざ応募しようとした時に色々な不安がでてきました。近所の人たちと交流ができるか、会

社は人員不足で退職してもいいものか。考えれば考えるほど不安が増す一方で応募するのをためらいました。そんな時にこの唄を聴いて勇気ももらい決心することができました。そして晴れて只見町で衣食住することができました。これからは、地域おこし協力隊として精いっぱい頑張りたいと思いますので皆様よろしくお願ひ致します。

人生一度きり。うじうじしても何も始まらない。やって後悔しよう。やるならいましかね。